

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス I☒e埼玉ミミ

対象人数(保護者)12人 回答者数 11人 回収 91.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	5		2
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	3	2	2
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1		2
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1		
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	11			
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			1
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	1	3
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	1	7
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	6
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10			1
非常時等の対応	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			2
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			4
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			5
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			3
満足度	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1
	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	10			1
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9			2
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	11			

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をやるのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

<改善案・対策>

環境体制整備

①活動スペースについて (はい 36%)

- ・レイアウトを変更し部屋の中央に動けるスペースを確保しました。
- ・自由時間には、コーナー活動を取り入れており自分の好きな事をして過ごせるようにグループにわけ散歩やドライブ等の戸外活動、とお部屋でゆっくり過ごすグループに分けることでゆったりと過ごせる環境を整えています。
- ・お休みの日には、公園や水族館・動物園等お外に出る機会を増やす事で全身を大きく動かせる活動時間を十分に確保しています。
- ・建物が狭いと言う事は認識しており、現状のスペースとの兼ね合いを考慮し、1日の利用定員を適切に調整する事で過度な密集を避けるように努めています。

②適切な人数の職員が配置されているかどうか (はい 36%)

- ・現在職員の人数の不足がある日は予め他店に協力依頼をだし、職員の人数確保をおこない基準を満たしております。また、より手厚い個別支援を実現するため、現在新たな職員の求人を継続中です。採用後は、さらに一人ひとりに寄り添った療育体制を強化して参ります。

③バリアフリーについて (はい 72%)

- ・入口(駐車場から教室に入る時の段差)や、施設の構造上バリアフリーが十分ではない箇所につきましては、職員が必ず付き添うことで安全に移動できるよう児童にあったサポート徹底しています。
- また、お子様の導線にあわせた家具の配置を工夫し、転倒や衝突を防ぐ安全な環境づくりに努めていきます。

適切な支援の提供

①専門性のある支援をうけているか (はい 90%)

- ・既存スタッフ間でも常に状況や特性にあわせた勉強会や支援会議をおこなっていますが、有資格者(ST・OT等)の専門職の方がいないことで不安になられる保護者のかたもいらっしゃるのではないかと思います。現状、ST巡回 11月1回 12月1回 2月1回 3月2回 心理士巡回 月1回 3月2回 とクリニックから派遣されています。お子様にあった支援の指導をうけ専門職のかたに頼りきるのではなく、既存のスタッフによる継続した支援を目指しています。

⑩地域のこどもと活動する機会がありますか (はい 45%)

- ・公園や児童館を利用し、地域のお子様と同じ空間で遊ぶ機会を設けております。公共の場でのルールやマナーを学ぶと共に、自然な形での社会交流を目指します。
- ・地域の方たちとの同じ活動をすると言う事に関しましては、春日部市役所の開催する交流会に参加し、ダンス・ウェルという団体と地域住民の方々と表現を通じた交流をおこないました。これからも、参加可能なイベント情報をキャッチし交流する機会を増やして行きたいと思っております。

⑭家族支援プログラムの機会等が行われているか? (はい 18%)

- ・送迎時や連絡帳での日々のやり取りに加え、定期的な個別面談を実施し、ご家庭での悩みやご要望に丁寧に耳を傾ける体制を整えています。
- ・お子様の事業所での様子を写真や動画を交えて共有し、成長を共に喜び合える関係性を築くことで、保護者様の心理的負担の軽減に努めます。

・ご家族で参加できる研修会や親睦会などは現状取り組めていませんが、クリニックと連携したことで専門のスタッフを迎えての勉強会をおこなうように企画していきたいと思います。ご家庭での悩みやこんなことが知りたい等ご要望がございましたら、参考にさせて頂きたいと思います。

⑩保護者会などの開催などにより保護者同士の交流の機会がもうけられているか？
(はい 9%)

・個別面談が中心ですが、ご要望があればテーマ別の小規模な勉強会や親睦会を順次企画・開催していきたいと思います。また、近隣店舗と合同で専門職をよんでの勉強会等もおこなえたらと思います。(市役所等の会議スペースを借りて開催)

⑫個人情報の取り扱いに十分に留意されているか？ (はい81% わからない19%)

・個人情報を含む施錠管理を徹底し、デジタルデータについてはアクセス権限を制限したうえでパスワード管理をおこなっています。また、採用時及び定期的な職員研修を実施し、守秘義務についての理解を深めています。求人により採用した新入職に対しても、個人情報保護の重要性を指導し、誓約書の提出を義務付けています。

⑬マニュアルの策定と訓練実施がされてるか (はい55% わからない45%)

・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の策定をおこなっており、定められた月ごとに研修・訓練の実施をしています。また、今後はハグ内の活動記録(ブログ)を利用し研修・訓練後の周知徹底に努めていきたいと思います。

⑭非常災害時の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練が行われているか？
(はい55% わからない45%)

・消防計画に基づき年2回の避難訓練・火災発生時の消火・通報訓練を計画的に実施しています。通報・初期消火・児童の誘導等、職員それぞれの役割分担を繰り返し確認し、迅速に動ける体制を整えています。

・特性によりパニックや強い不安を感じるお子様に対し、絵カードやホワイトボード(視覚的支援)を用いた事前説明をおこない、パニックを最小限に抑える工夫をしています。現状は消防計画に基づいた回数の取り組みしかできていませんが、非常に時に備え訓練の回数を増やして行ける様に努めていきます。

・避難救出に関しましてはパニックにより動けなくなる児童を想定し、シートを用いた搬送訓練を職員間でおこなっております。(シートも活動スペースに常備してあります)搬送時にパニックにならないように少しずつ児童も交えて訓練して行けるように努めます。

⑮安全計画の策定と周知。また安全の確保が十分に行われたうえで支援できているか？
(はい72% わからない28%)

・事業所全体の安全確保を目的とした「安全計画」を策定し、全職員に周知徹底しています。これに基づき、送迎、室内活動、屋外の各場面におけるリスクを洗い出し、事故防止に向けた具体的な対策を実施しています。(事故・ヒヤリハット報告・分析フローを行う事で再発防止にも努めています。)

⑯⑰子供は安心感をもって通所しているか？たのしみにしているか？

(はい91%82% わからない9%18%)

・お子様の気持ちがわからないというお声もいただいております。活動の様子や自由時間の様子等、送迎時のお伝え以外にも写真付きの連絡帳を記入することでお子様の笑顔や真剣に活動に取り組んでいる様子等皆様にお伝えできればと思っております。また、こどもの出来たが見える化できるように活動を通して沢山の作品をお持ち帰り

できる様に努めております。ぜひ、お子様の できた についてご自宅にて沢山褒めて頂いたり、お話しして頂けますと幸いです。 これからも、お子様の笑顔を保護者の皆様にお届けできるように努めて参ります。

⑳事業所の支援に満足していますか？ (はい 100%)

アンケートの結果、スペースの制約や求人による人員確保といった課題がある中で全ての保護者様から「満足」との評価を頂きまして、職員一同心より感謝申し上げます。 今後もこの信頼を裏切る事なく、お子様が心から楽しみ成長できる居場所づくりに邁進いたします。